

寄附金募集計画書

1. 寄附金の名称

理研 CBS 未来ファンドー脳とこころの研究 未来を拓く寄附金
(略称：理研 CBS 未来ファンド)

2. 募集対象事業

(1) 事業名：

理研 CBS 未来ファンドー脳とこころの研究 未来を拓く寄附金事業

(2) 趣旨

ディープラーニングがもたらした画像認識や自然言語処理などはすでに生活の一部となり、最近では対話型 AI である ChatGPT が登場し、さまざまな用途で使用されています。これら最先端テクノロジーの発展の背景には、脳内の神経細胞が情報伝達をする仕組みを模したニューラルネットワークを人工知能へ実装してきたという脳研究の成果が大きく貢献しています。

脳研究から得られた知見をもとに、新たなテクノロジーを獲得している反面、多くの人々を苦しめている認知症、うつ病、統合失調症、依存症、発達障害などの脳の疾患が、どのようなメカニズムで起こり、さまざまな症状をもたらすのかについては、まだすべてを理解できておらず、基礎研究、ひいては医療の現場において根治のための治療法を提示できずにいます。

理化学研究所では、脳神経科学研究センター（理研 CBS）において、次世代 AI 開発へつなげる理論の提唱、脳・精神疾患の克服を目指して、脳とこころの仕組みを根本から理解するための基礎研究を推し進めています。臨床や応用の土台となる基礎研究は、2～3 年という短い期間で大きな成果を生むことは稀で、小さな発見の種を大事に育て、10 年、20 年と挑戦と失敗を繰り返しながら、大きな果実を社会にもたらしめます。そのためには、熱意を持って研究を進める人財を長期的にサポートしていくことと同時に、新しい視点や挑戦意欲を持った学生や若手研究者（以下、若手研究者）を育てていく必要があります。また、科学研究を飛躍させるためには若い頭脳だけではなく、多種多様なバックグラウンドと価値観をもつ人財が研究という分野で活躍できる環境を研究所は提供する必要があります。

皆さまの寄附を財源とすることで、研究所内外の若手研究者が所属機関や研究室、研究テーマや専門性の垣根を越えて、持てる知識や技術を共有し、ブレークスルーを生み出すきっかけとなる議論の場を積極的に設けることが可能になります。また、現在まだまだ少数派である女性研究者やダイバーシティ豊かな研究者を増やしていくことが可能になり、研究は広く、強く進んでいきます。このような人材育成プログラムに加え、解決すべき課題と解決へのアプローチ、研究の進み具合、成果を分かりやすく、かつタイムリーにお伝えし、社会と共有していく一般向けシンポジウムやトークイベントを定期的に開催

することが可能になり、社会全体と脳科学研究の進み具合を共有し、得られた知識をお伝えすることで脳研究に関するリテラシーの向上が可能になります。

これらの活動へ関心を寄せていただけるみなさまと「一緒に若手研究者を育て、脳研究を強く前進させる」という共通の目的をもち、本寄附金プロジェクトを推進して参ります。

<プロジェクト実績>

- ・ [脳科学塾](#)・ [YIS/CBS ソーシャル](#)・ [派遣プログラム](#)・ [PDFA](#)
- ・ [Neuro Square](#)

(1) 事業内容

① 代表者

国立研究開発法人理化学研究所 脳神経科学研究センター
センター長 影山龍一郎
センター長室長 吉川武男

② 内容

以下、現在進めている若手研究者のキャリア構築、研究者間のネットワーキングを促進するプロジェクト、研究成果発信活動などの継続、ならびに今後必要と判断する新規育成プロジェクトの実施

・ **YIS (ヤングインベスティゲーターズセミナー)・CBS ソーシャル：**

若手研究者等や中堅研究者が自分の研究を紹介しプレゼンテーションのスキルアップを図る。所属する研究室以外の研究者と友好を深め、共同研究のきっかけをつかむ機会となる交流会を開催する。

・ **UCSF (カリフォルニア大学サンフランシスコ校) への派遣・交換プログラム：**

選抜された若手研究者等が研究集会「UCSF リトリート」に派遣されるプログラム。研究ポスターや口頭発表を行い、その後 UCSF キャンパスの研究室を訪問することにより UCSF との交流を深める。反対に理研 CBS でも UCSF からの若手研究者を「CBS リトリート」に受け入れ、相互に交流を深める。

・ **ポストクアソシエーション (PDFA)：**

ポストクの充実したキャリア形成を目的とした自治組織。自主企画するセミナーシリーズでは、著名な研究者やサイエンス雑誌編集者を招待し、有益かつホットなテーマについて議論する。

・ **脳科学塾：**

約9カ月間のプログラムで、神経科学を体系的に学ぶための23回の講義、ジャーナルクラブ、口頭発表試験を行い、次世代の神経科学者育成を図る。

・ **「リトリート」での若手交流：**

1998年より実施している「CBS リトリート」は、若手研究者を育成し、研究室間の交流を図る機会として位置づけられてきた。特に、普段は交流が少ない他研究室の研究者のポスター発表を互いに視聴することは大いなる刺激になっている。また、リトリートは宿泊を含むので、ポスターセッションが終わっても、そのまま夜を徹して議論が続けられることも多い。

・ **Neuro Square など研究を伝えるサイエンスコミュニケーションプロジェクト：**

研究者が自身の言葉で研究の成果、解決すべき課題を一般市民に向けてプレゼンするトークシリーズ。脳科学リテラシーの向上と若者に研究の魅力を伝える。

・ **若手研究者の学会や研修への派遣や招聘にかかる参加費・旅費・滞在費等の支援**

・ **理研 CBS ならびに理研 CBS に属する研究室が主催する研究会の開催、研究活動の普及活動、研究推進のための環境整備**

3. 募集額

6500 万円

4. 募集期間

2023 年 9 月 1 日 ～ 2028 年 8 月 31 日

5. 支出計画（目安）

・ 議論の場となる交流会費	135 万円/年×5 年=675 万円
・ 学会等への参加・渡航費等	180 万円/年×5 年=900 万円
・ 講師・交換学生や研究者等招聘時の人件費・謝金	135 万円/年×5 年=675 万円
・ 研究会および研究活動普及に関する費用	360 万円/年×5 年=1800 万円
・ 研究推進のための環境整備費	360 万円/年×5 年=1800 万円
・ 一般管理費（募集額の 10%）	130 万円/年×5 年=650 万円

6. 募集の方法及び手続き

- ・ 理研所外ホームページ 寄附金のページに掲載
(URL：<https://www.riken.jp/support/#solicited>)
- ・ 脳神経科学研究センターホームページに掲載
(URL：<https://cbs.riken.jp/jp/public/support/>)

7. 独自の特典（希望者のみ）

- ・ 一般向けトークシリーズ Neuro Square へのオンライン参加権

8. 募集計画書の問い合わせ先

国立研究開発法人理化学研究所 脳神経科学研究センター センター長室

E-mail：[cbs-donation\[at\]ml.riken.jp](mailto:cbs-donation@ml.riken.jp) ※[at]は@に置き換えてください。

住所：〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2 番 1 号 W-B53